

正智深谷高等学校特別コラム

# Mind Charging

Since 2020

第360回

ステフィン・カリー

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和5年6月12日

編集委員：入試広報室 鈴木



## 今回の言葉

Be the best version of yourself in anything you do. You don't have to live anybody else's story.

何をするにしても自分の中でのベストな

自分になるんだ。他人の人生を生きる必要はない。

ワデル・ステフィン・カリー2世は、アメリカ合衆国・オハイオ州アクロン生まれ、ノースカロライナ州シャーロット出身のプロバスケットボール選手。NBAのゴールデンステート・ウォリアーズに所属している。

## Column

アメリカのプロバスケットボールリーグ『NBA』史上最高のシューターとして名高いステフィン・カリー選手の名言です。彼の最大の武器である3ポイントシュートの決定率が非常に高く、シュートと言えば豪快なダンクというこれまでのNBAをはじめとするバスケットボール全般に革命を起こしたとも言われており、バスケットボールファンであれば知らない人はいないという名選手です。

バスケットボールの世界で頂点まで極めている人が今回のような言葉を発したと考えると“こういう人は他のことをやってもきっとトップレベルまで到達していたのだろう”と想像します。それと同時に“誰でも最初は初心者（素人）だったはずなのに、なぜ大きな差が生まれるのだろう…”と思っていたことの答えをもらったような気になりました。スポーツの世界では“体格”という努力だけではどうにもならない問題があります。しかし、今回の言葉からはもうひとつの答えをもらいました。カリー選手はNBAトップ選手になるだけの体格も持ち合わせていたことが“決め手”になったのかもしれませんが、その体格が手に入るかどうかわからない幼少期から間違いなくトップを目指していたのだということです。結果として夢であるNBA選手になれなかったとしても『本気で目指したんだ！』という“経験”が今後の人生において大きな自信になっていて、その様になるレベルまで常にベストを尽くしていたのです。カリー選手が“NBAのスターになった気分はどうですか？”とインタビューされたらきっと今回の言葉のようなコメントするのだろうと思います。

自信がなくても、わからないことが多くても、目の前にあることに今の自分のベストを尽くして立ち向かうという『勇気』こそが自己実現への近道であり自分の人生を充実させる唯一の方法なのでしょうね。